

第二回 足立区都市交通マスタープラン検討委員会

参考資料

I. 平成 21 年度実態調査結果の概要について

①区民意識調査データの統計値との比較

- 統計値として、平成 21 年 8 月 1 日現在の人口（住民基本台帳）を用いている。
- 性別、年齢区分、地域分布ともに統計値と概ね一致しており、母集団を表現している。

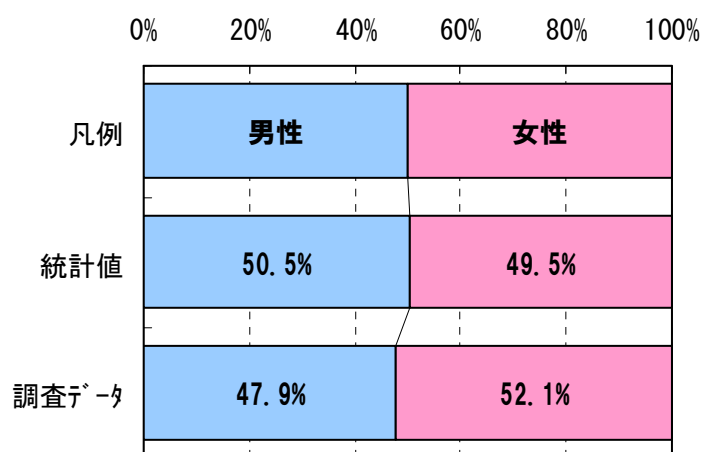


図 統計値との性別比較

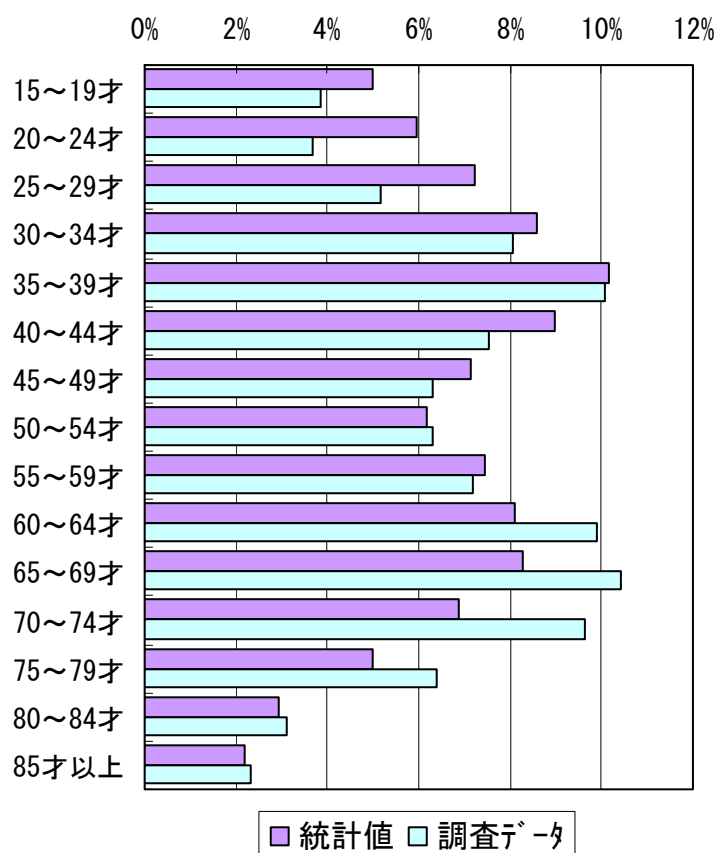


図 統計値との年齢区分比較（15才未満を除く）

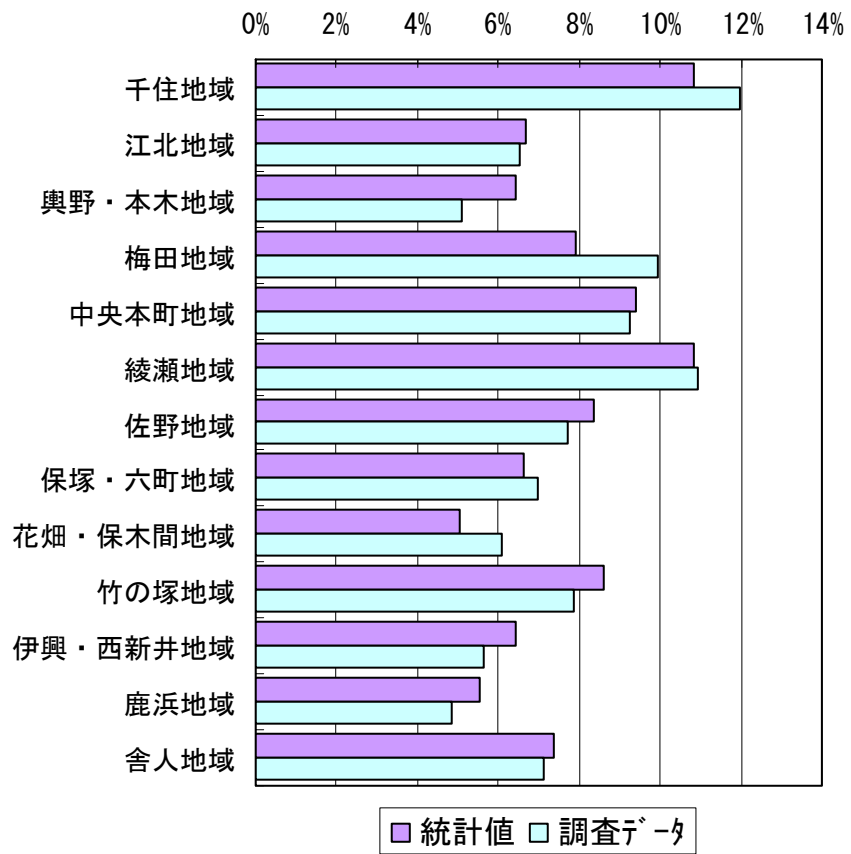


図 統計値との地域分布比較

②はるかぜ利用者調査結果の概要

■ 第3弾（西新井駅～舎人団地）：平日24便（6～22時台）、休日17便（7～20時台）

○ 利用特性

- ・平日、休日ともに午前中の西新井駅方向と夕方の舎人団地方向に需要が集中。
- ・利用の多いバス停：西新井駅、入谷東、足立入谷アパート

○ 利用者層

- ・調査対象全路線の傾向と同じく、平日、休日ともに女性・高齢者の比率が高い。
- ・また、休日ほど高齢者比率が高まる。

○ 回答者の運賃支払方法

- ・平日では「PASMO・Suica」が最多で38%、休日では「現金」が最多で31%。

○ 利用の目的

- ・平日では「通勤・通学」が53%、休日では「余暇・娯楽」が37%、「買物」が36%。

○ 利用者ニーズ（もっと利用するための改善してほしいサービス）

- ・運行本数に対するニーズが平日で70%、休日で62%と最多。
- ・次いで、平日では「運行時間帯（18%）」、休日では「バスの遅れ（10%）」。

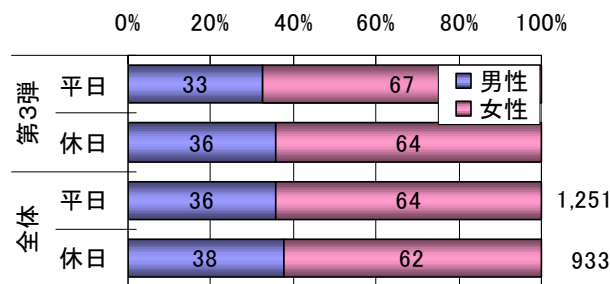
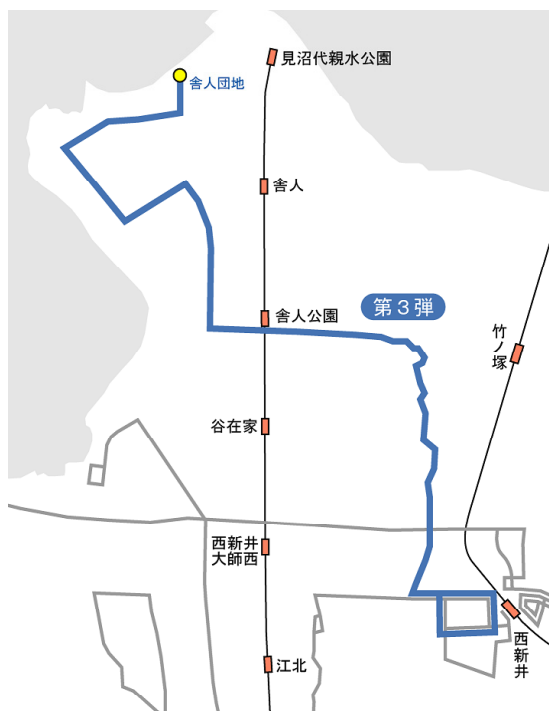


図 性別

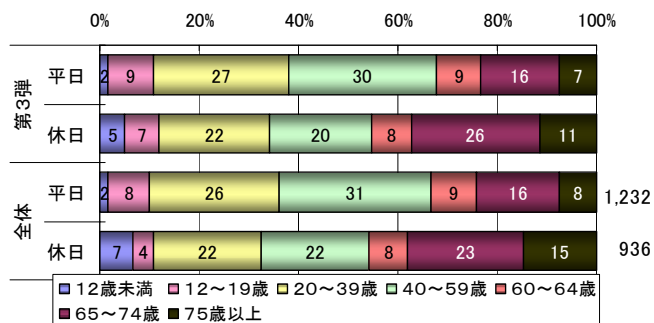


図 年齢構成

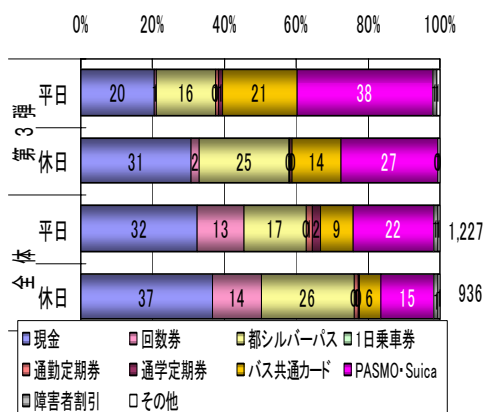


図 回答者の運賃支払方法

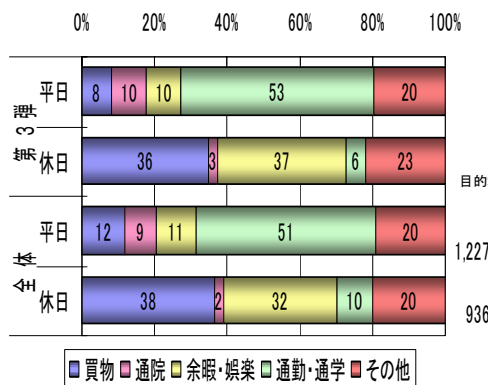


図 回答者の利用目的

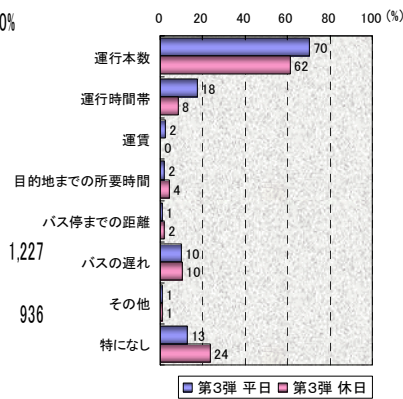


図 もっと利用するための改善してほしいサービス

■ 第7弾（梅島駅入口・足立区役所～六ツ木都住・八潮駅北口）：平日休日ともに6便（7～17時台）

○ 利用特性

- ・平日では朝一便の梅島駅方向と夕方最終便の六ツ木都住方向に集中。
- ・休日では始発・最終にはほとんど利用がなく、日中に集中している。
- ・利用の多いバス停：足立区役所、都営住宅南、六町駅

○ 利用者層

- ・調査対象全路線の傾向と同じく、平日、休日ともに女性・高齢者の比率が高い。

○ 回答者の運賃支払方法

- ・平日では「PASMO・Suica」が最多で35%、休日では「都シルバーパス」が最多で44%。

○ 利用の目的

- ・平日では「通勤・通学」が49%、休日では「買物」が56%。

○ 利用者ニーズ（もっと利用するための改善してほしいサービス）

- ・運行本数に対するニーズが平日で77%、休日で68%と最多。
- ・次いで、平日・休日ともに「運行時間帯（平日26%、休日32%）」。
- ・改善してほしいサービスが「特になし」という人がほとんどみられない。

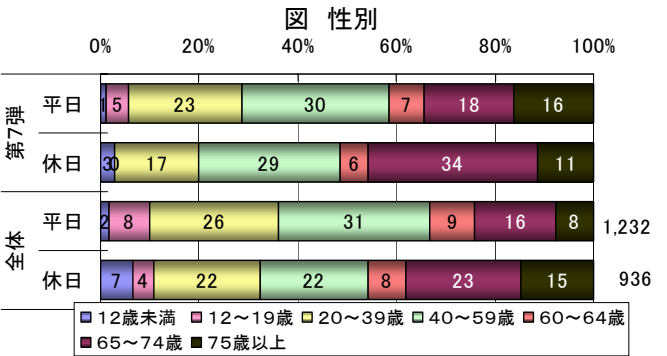
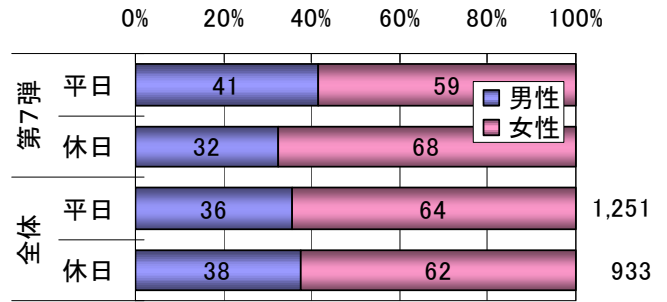
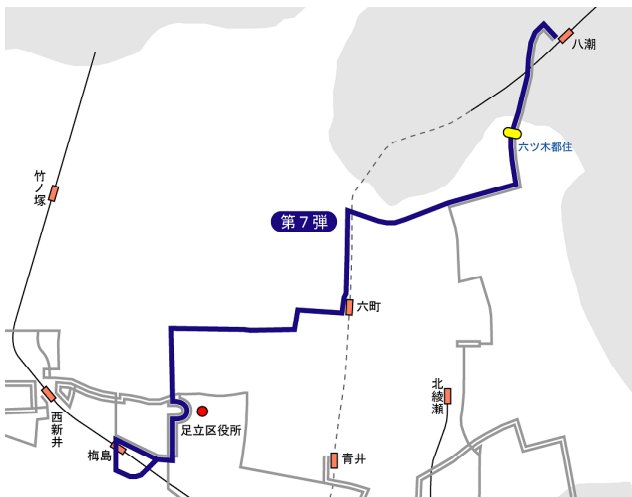


図 性別

図 年齢構成

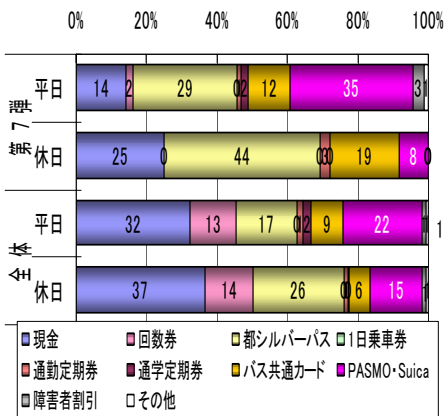


図 回答者の運賃支払方法

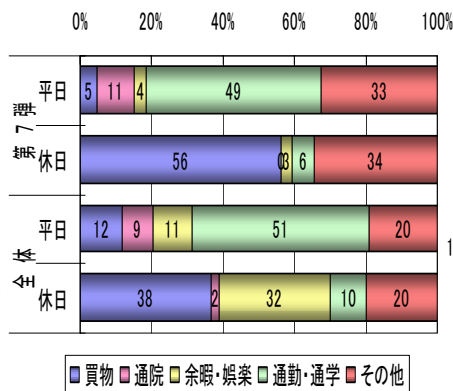


図 回答者の利用目的

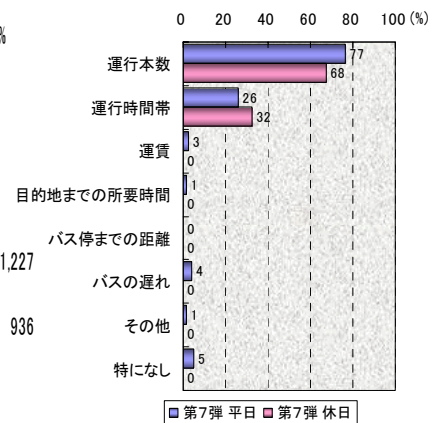


図 もっと利用するための改善してほしいサービス

■ 第10弾（西新井駅～高野駅）：平日は高野駅行15便、西新井駅行14便（7～20時台）
 休日は高野駅行14便、西新井駅行13便（7～20時台）

○ 利用特性

- ・平日、休日ともに午前中の西新井駅方向と夕方の高野駅方向に需要が集中。
- ・最多利用は平日が16時台の高野駅行、休日が11・12時台の西新井駅行。
- ・利用の多いバス停：西新井駅西口、第七中学校、扇大橋駅、高野駅

○ 利用者層

- ・調査対象全路線の傾向と同じく、平日、休日ともに女性・高齢者の比率が高い。
- ・特に、平日の女性比率は調査対象路線の中でも最多の77%を占める。

○ 回答者の運賃支払方法

- ・平日・休日ともに「現金」が最多で37%。

○ 利用の目的

- ・平日・休日ともに「買物」が最多（平日30%、休日45%）。

○ 利用者ニーズ（もっと利用するための改善してほしいサービス）

- ・運行本数に対するニーズが平日・休日ともに64%と最多。
- ・次いで、平日・休日ともに「運行時間帯（平日24%、休日18%）」。

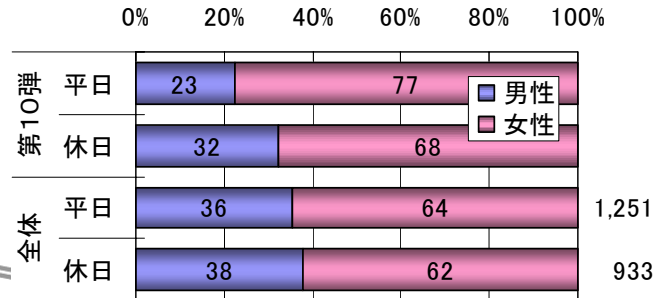


図 性別

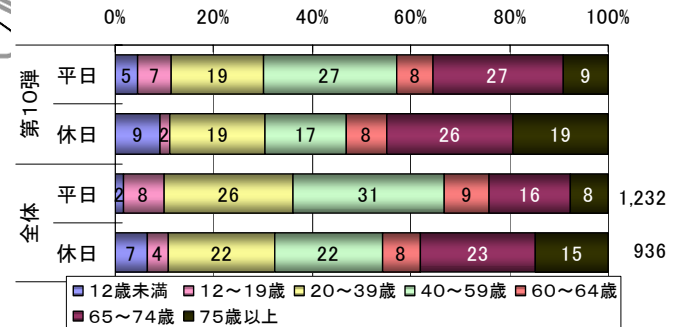


図 年齢構成

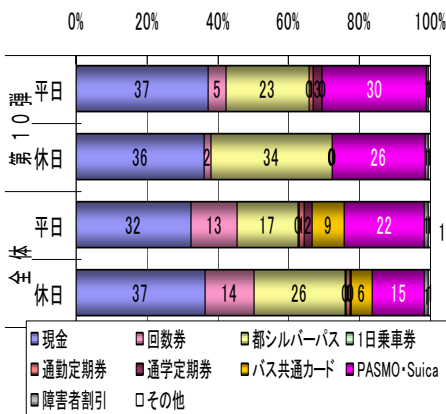


図 回答者の運賃支払方法

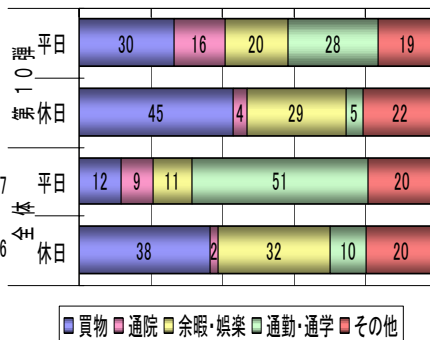


図 回答者の利用目的

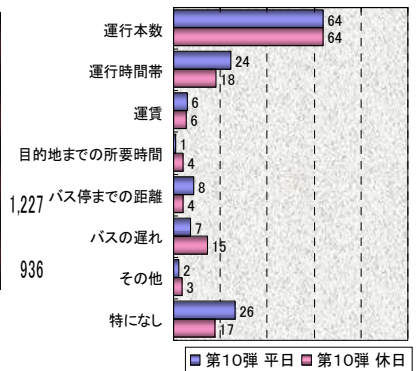


図 もっと利用するための改善してほしいサービス

■ 第11弾（北千住駅西口～堀之内公園前（循環））：平日37便、休日34便（6～22時台）

○ 利用特性

- ・平日は朝ラッシュ時に、休日は8～14時台に需要が集中。
- ・最多利用者数は、平日が7時台、休日が14時台。
- ・利用の多いバス停：北千住駅西口、江北区民事務所入口、足立六中入口、学びピア前

○ 利用者層

- ・女性・高齢者の比率が高い。

○ 回答者の運賃支払方法

- ・平日・休日ともに「現金」が最多（平日47%、休日43%）。次いで「回数券」。
- ※本路線は「PASMO・Suica」使用不可。運行事業者の「回数券」を使用可能。

○ 利用の目的

- ・平日は「通勤・通学」が最多で58%、休日は「買物」が最多で35%。

○ 利用者ニーズ（もっと利用するための改善してほしいサービス）

- ・運行本数に対するニーズが平日・休日ともに最多（平日44%、休日33%）。
- ・他路線と比較して「特になし」の比率が高い（平日24%、休日49%）。

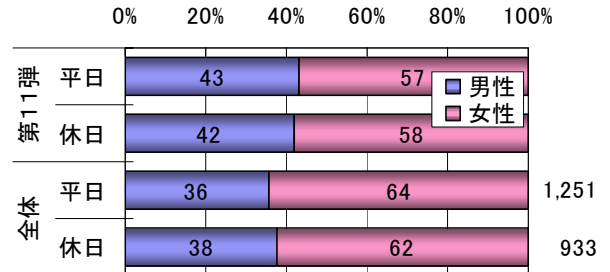


図 性別

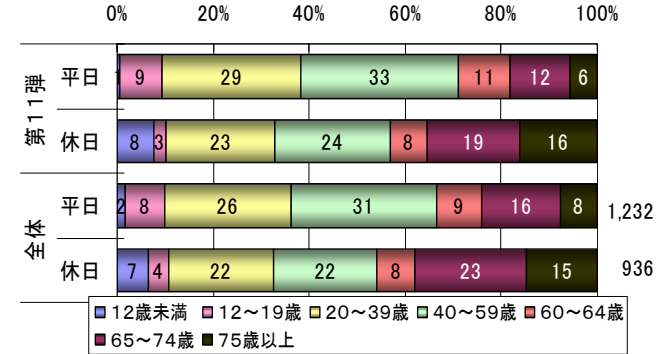


図 年齢構成

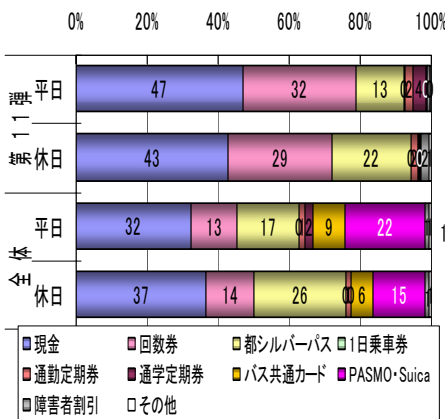


図 回答者の運賃支払方法

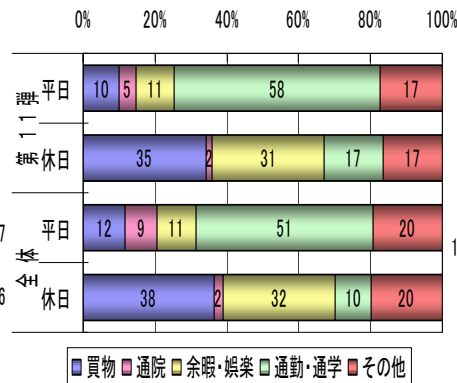


図 回答者の利用目的

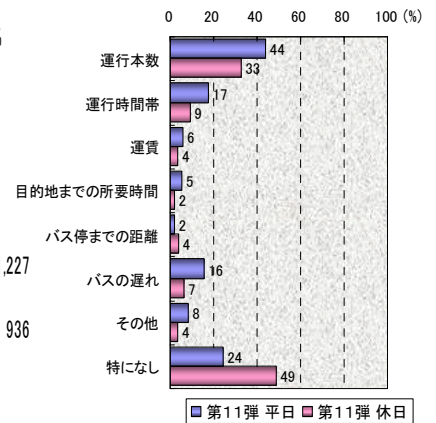


図 もっと利用するための改善してほしいサービス

③特定施設来訪者調査結果の概要

○ 回答者の居住地

- ・各施設とも区内からの来訪者が7割以上を占める。
- ・両病院については、近隣町丁目や隣接市区からの来訪が多い。

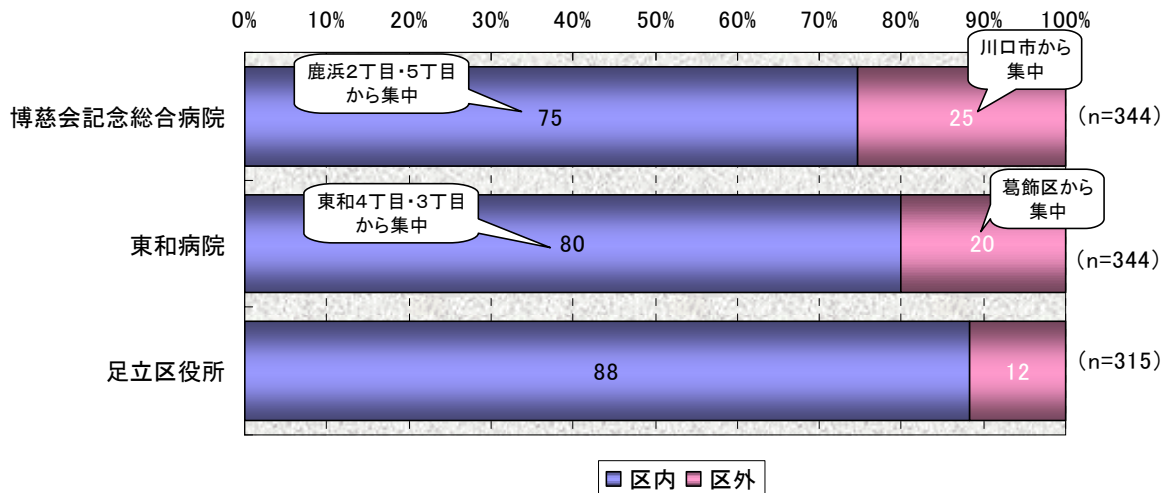


図 回答者の施設来訪前の出発地

○ 各施設への来訪頻度

- ・病院では「月1～2回以上（週に1回以上、月に1～2回程度の計）」が半数。
- ・一方、区役所は3割程度と来訪頻度が低く、「年に1回程度」の人も2割を占める。

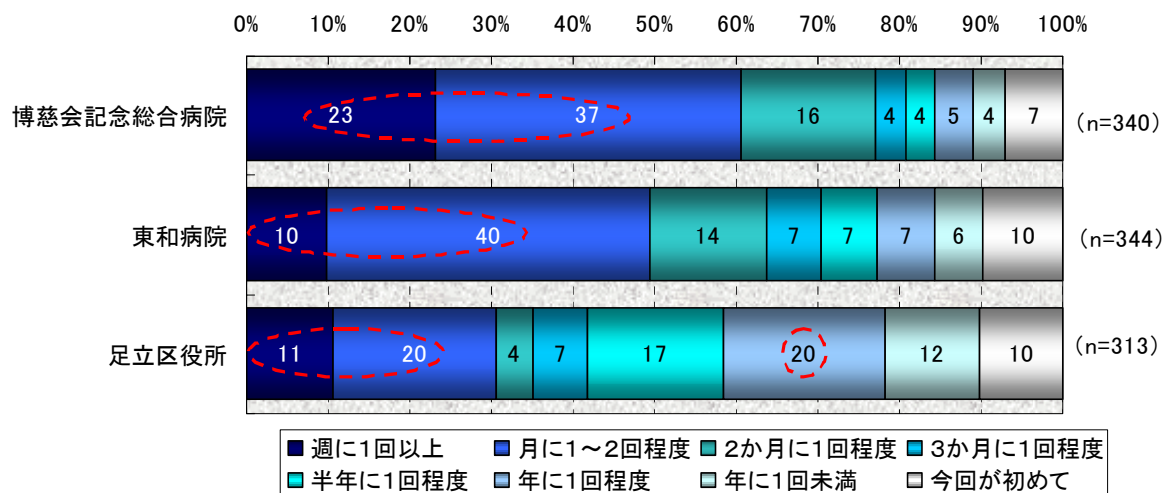


図 回答者の各施設来訪頻度

○ 各施設への利用交通手段

- ・自動車利用が多く特に区役所では4割を超える。また、病院では自転車利用者も25%以上を占める。
- ・近隣をはるかぜが運行していない博慈会記念総合病院と比較して、施設近隣をはるかぜが運行する東和病院、区役所では、はるかぜ利用比率が高い。

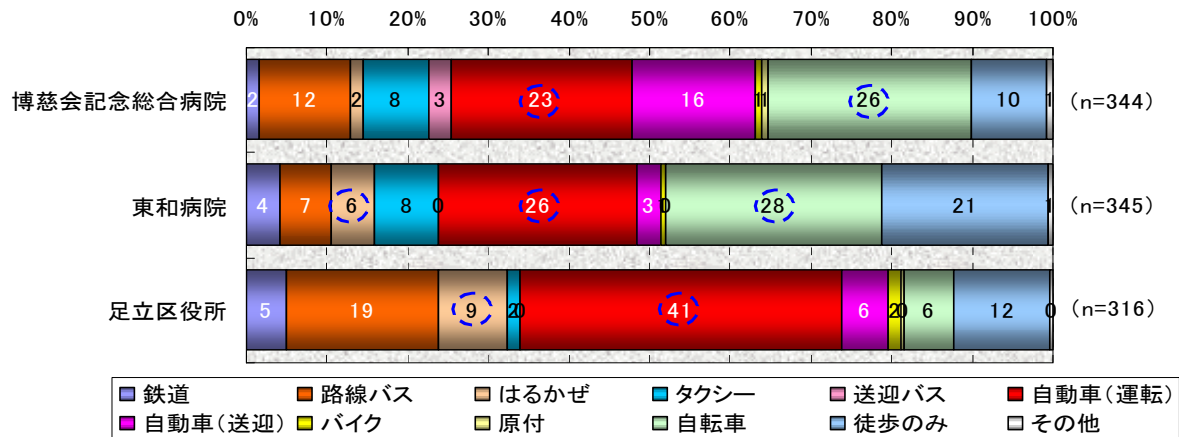


図 各施設への利用交通手段

○ バス利用者（路線バス・はるかぜ）におけるサービス水準に対する満足度

- ・各施設とも「バスの運行時間帯」に対する不満度が高い。実際の運行間隔との関係でみると、「運行間隔20分」以上になると不満度が高まる。

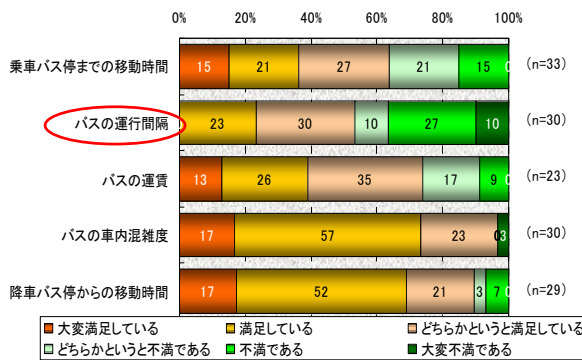


図 博慈会記念総合病院通院バス利用者の評価

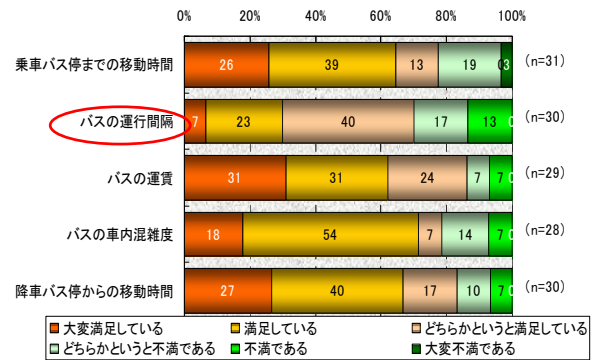


図 東和病院通院バス利用者の評価

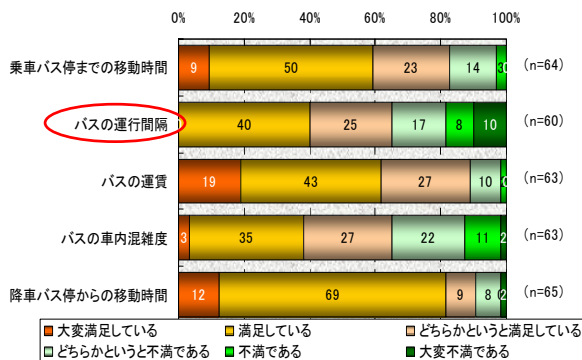


図 足立区役所来訪バス利用者の評価

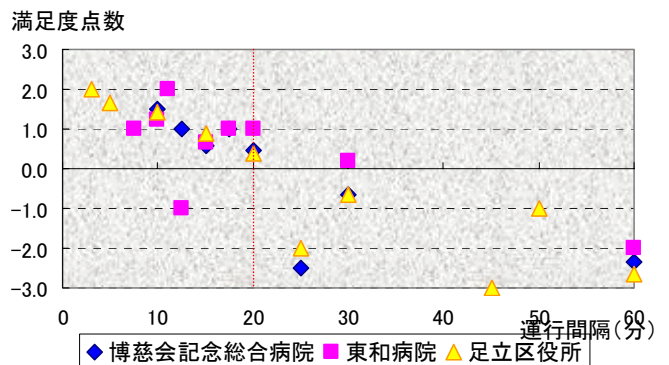


図 利用時の運行間隔と満足度の関係

注) 「大変満足=3点」、「満足=2点」、「どちらかという満足=1点」、「どちらかという不満=-1点」、「不満=-2点」、「大変不満=-3点」として運行間隔別に平均を算出。

○ バス利用者（路線バス・はるかぜ）におけるバス利用頻度を高めるための条件

- ・「運行本数」に対するニーズが非常に高いが、博慈会記念総合病院では「バス停を自宅の近くに作ること」、区役所では「乗車する停留所に到着するバスの遅れをなくすこと」があがっている。

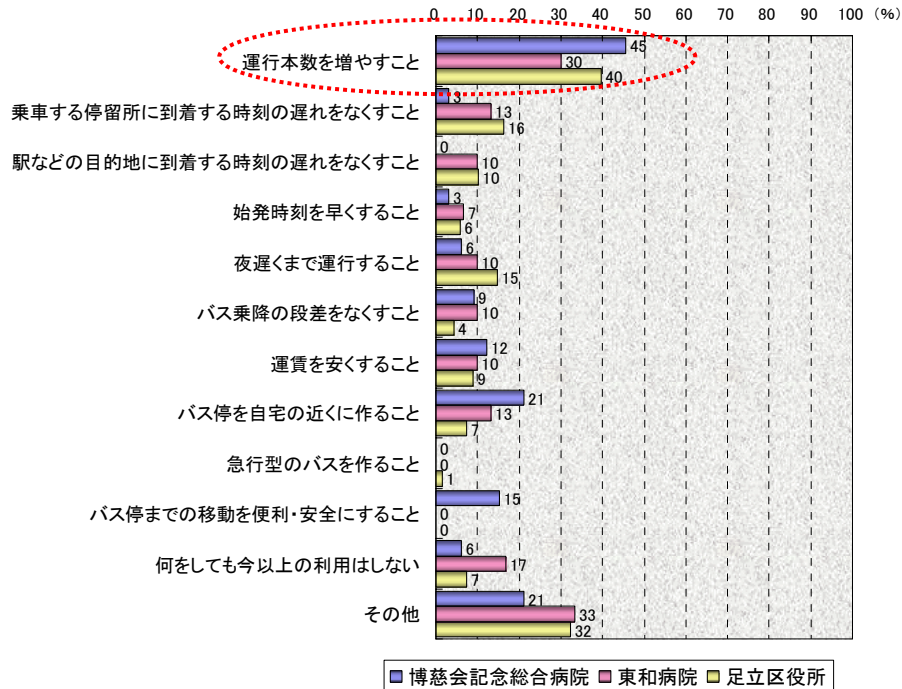


図 バス利用者におけるバスをもっと利用するための条件（複数回答）

○ バスを利用者しなかった人の普段のバス利用頻度

- ・約半数の人がバスを普段利用していない。

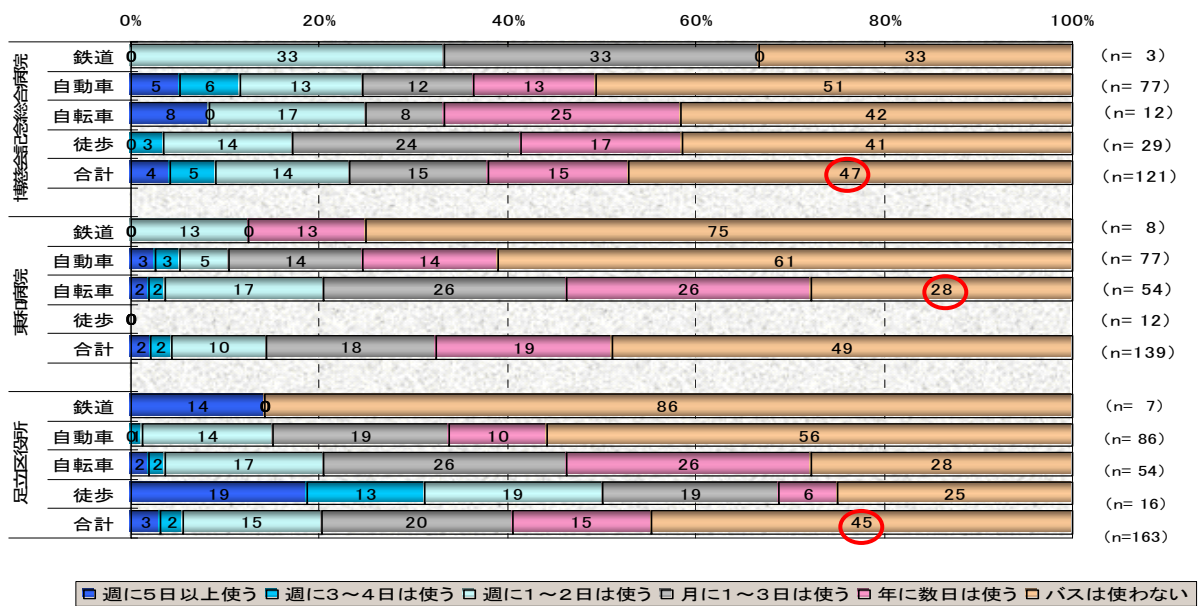


図 バス非利用者における普段のバス利用頻度

○ バス非利用者のバスを利用するための条件

・「運行本数」に対するニーズが非常に高いが、鉄道利用者や自転車利用者では「夜遅くまで運行すること」があがっている。

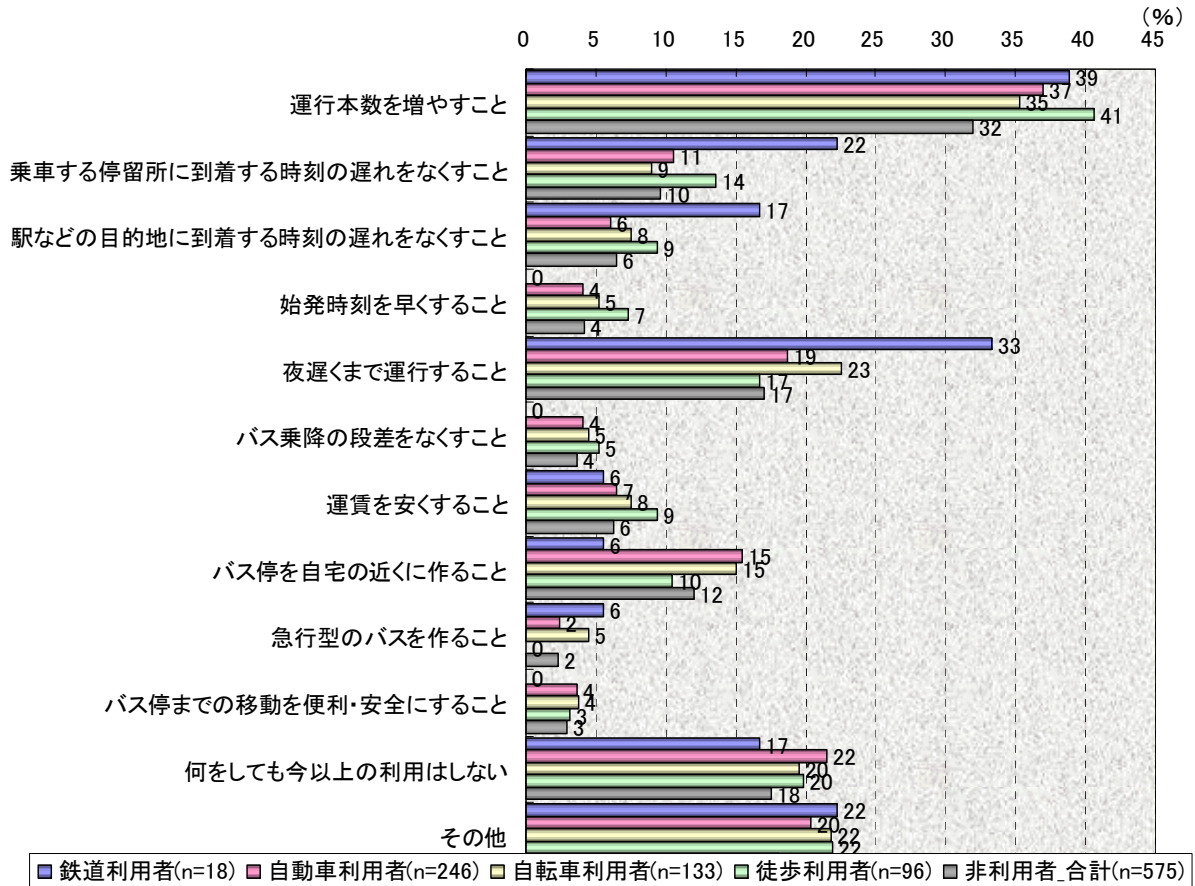
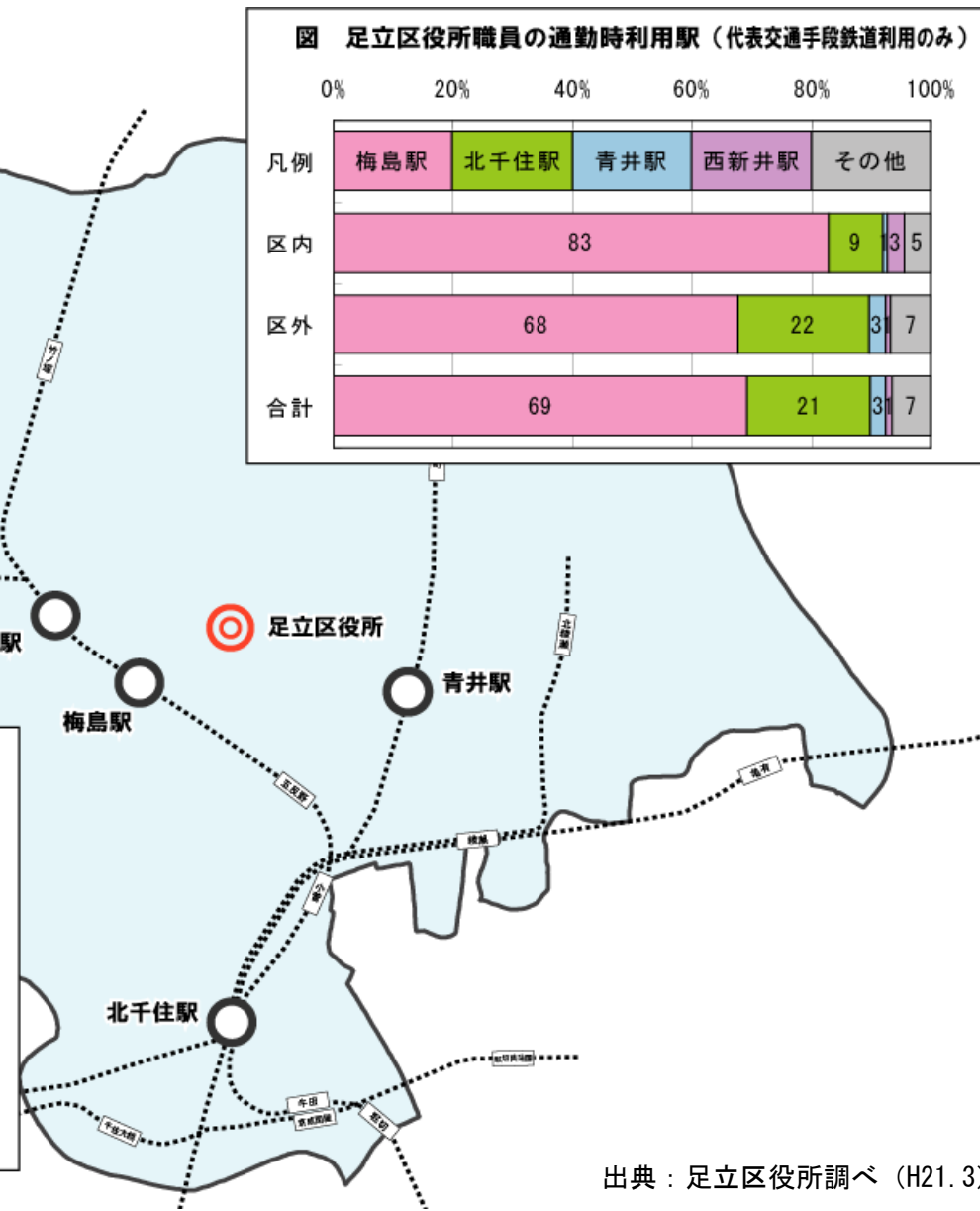
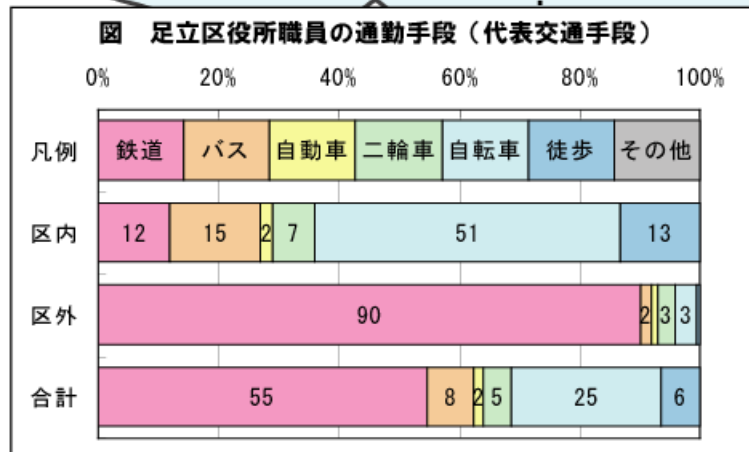
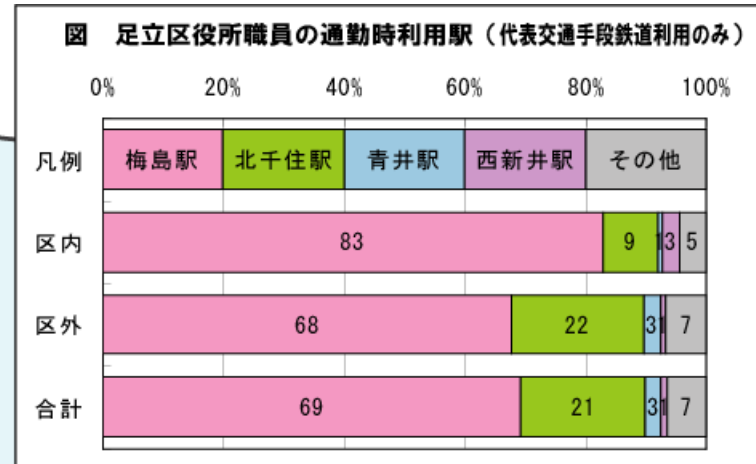
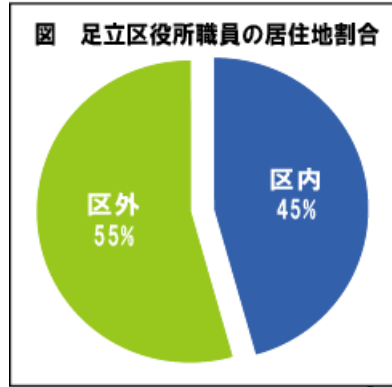


図 非利用者におけるバスを利用するための条件（3施設合計）

④足立区職員の通勤経路



出典：足立区役所調べ (H21.3)

Ⅱ. 都市交通マスタープランに求められる役割

①都区部代表交通手段分担率

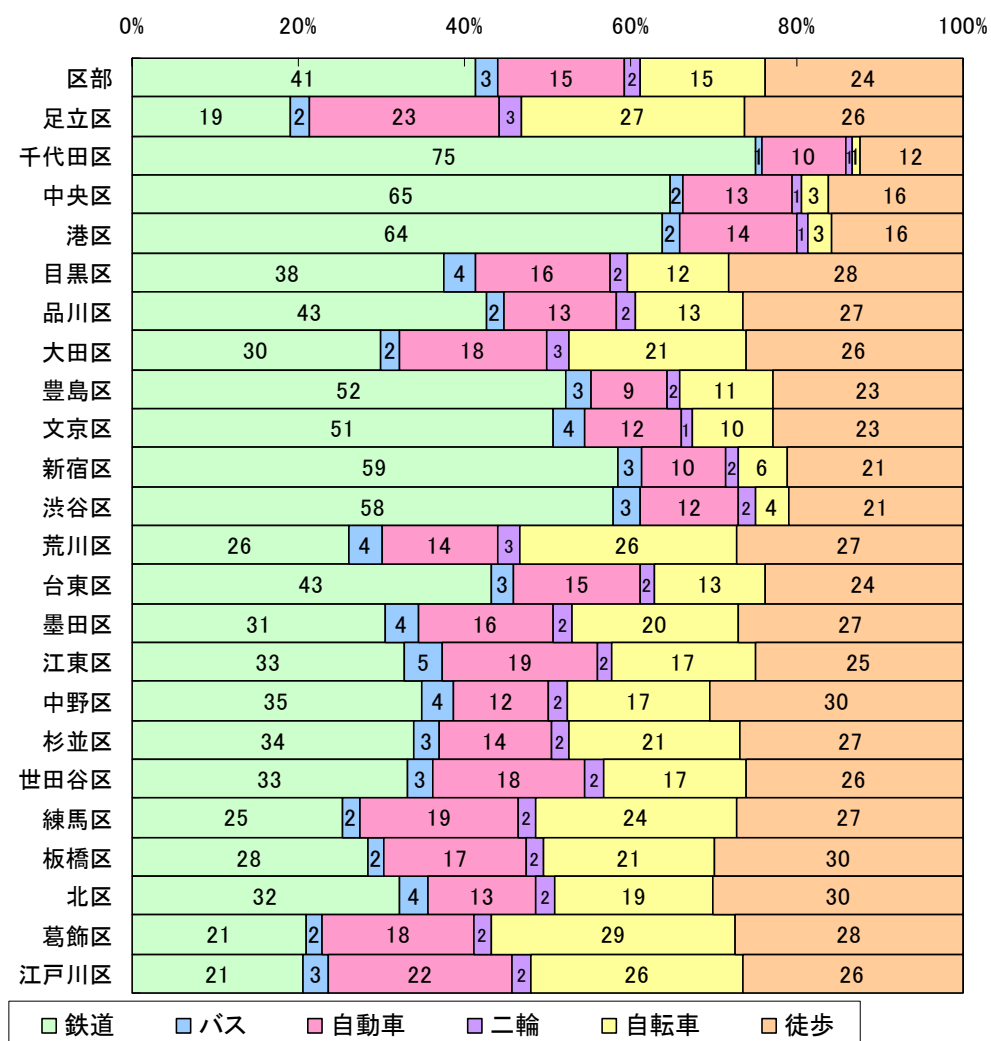


図 区別代表交通手段分担率

出典：東京都市圏パーソントリップ調査（H10年）

Ⅲ. 足立区を取り巻く環境変化

①足立区人口動向

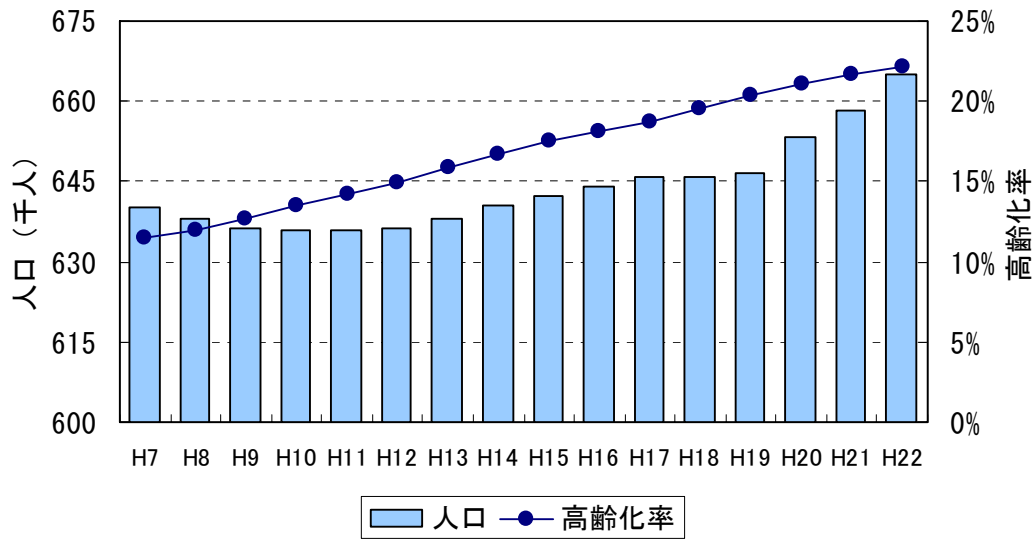


図 人口・高齢化率の推移 出典：各年住民基本台帳

注) 人口は外国人登録数を含む

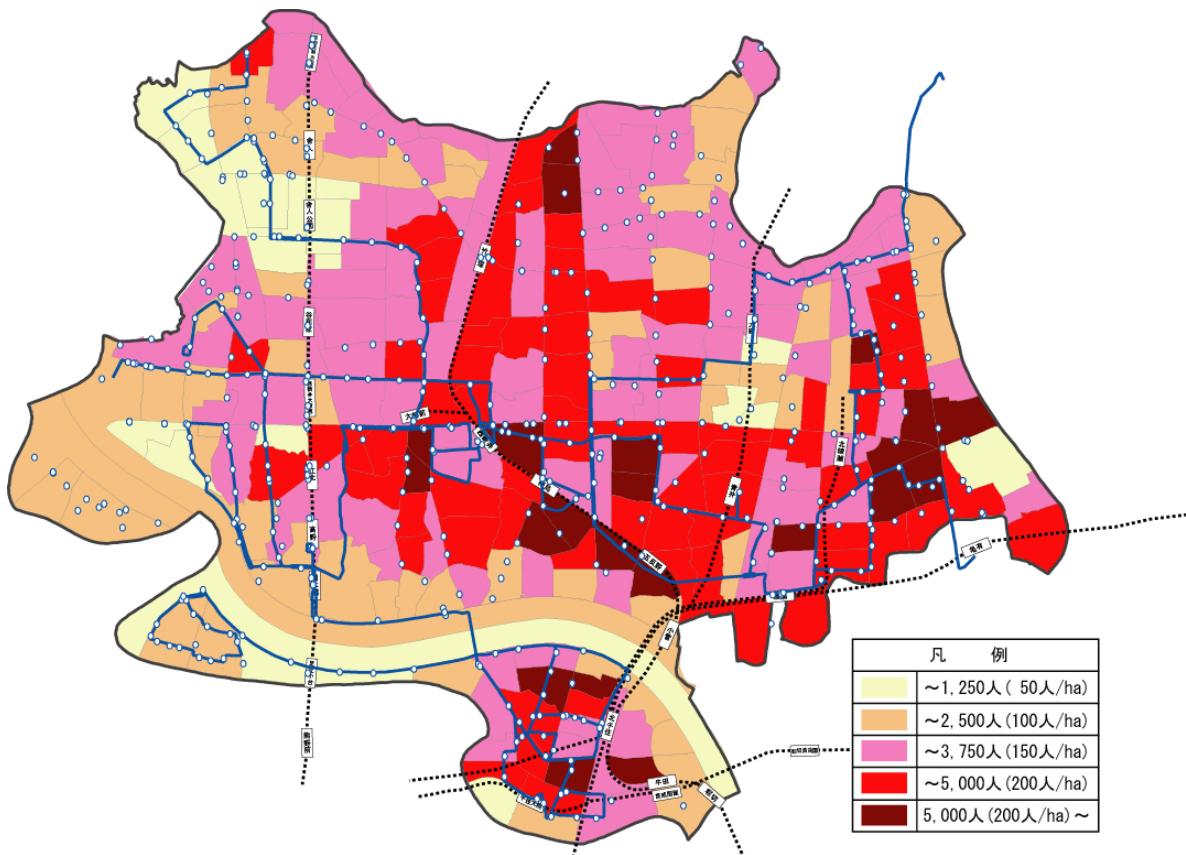


図 町字別人口密度 出典：H20 住民基本台帳

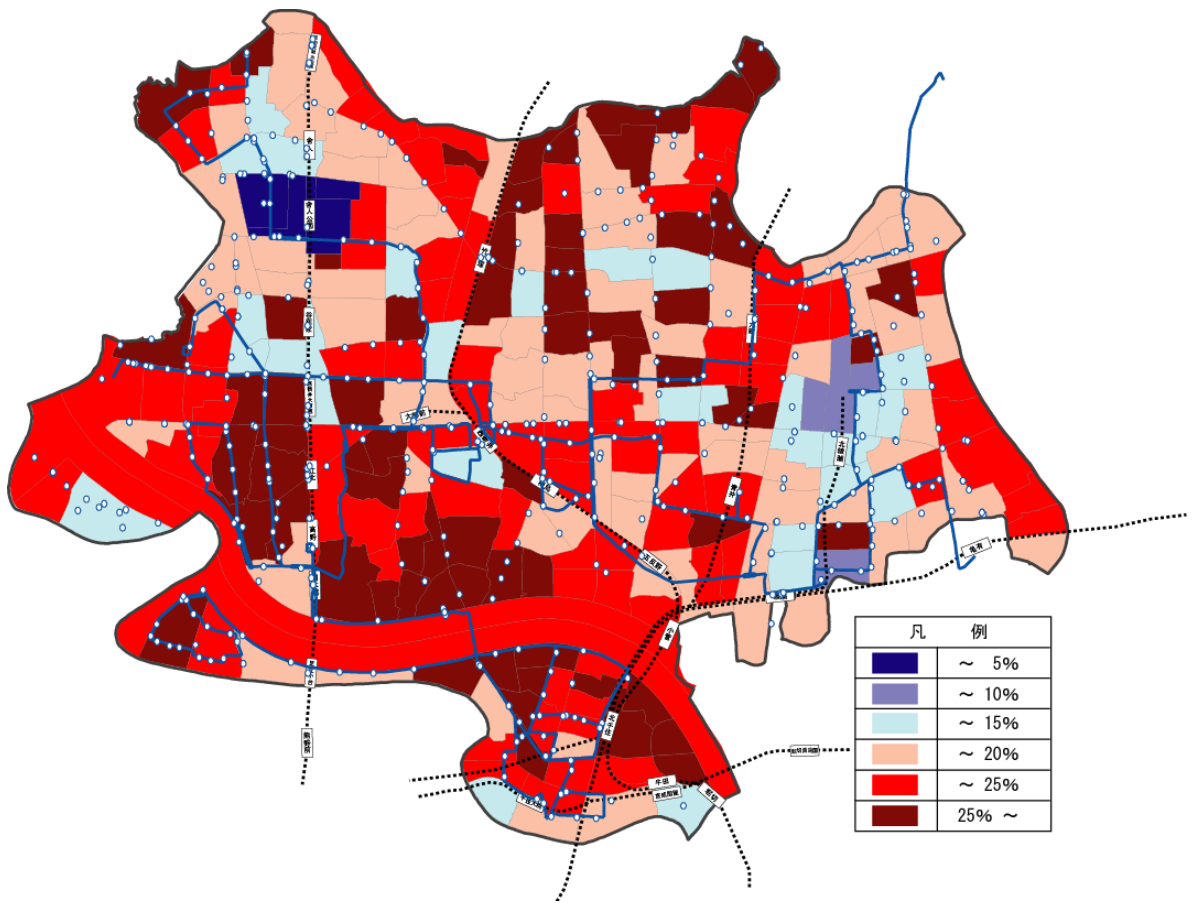


図 町字別高齢化率 出典：高齢者に関する人口等統計(H21.8.1)

IV. 足立区の交通に係わる課題

① バス路線網の課題

1) 公共交通（バス）不便地域の定義

- 都区部における不便地域の定義は以下のとおりであり、バス停からの距離は200～300m程度であり、鉄道駅からの距離はバス停と同様か500～1000m程度となっている。
- 外周区の定義から、足立区の水準として「バス停300m、鉄道駅500～800m」程度として設定した。

表 都区部における交通不便地域（空白地域）の定義

区名	距離 (m)		バス運行 本数条件 の条件	鉄道 駅数	面積 km ²	駅密度 駅数/km ²
	バス停	鉄道駅				
港区	300	不明	○	32	20.3	1.57
新宿区	200	700	—	27	18.2	1.48
文京区	200	200	—	14	11.3	1.24
豊島区	200	200	—	14	13.0	1.08
目黒区	200	300	○	8	14.7	0.54
世田谷区	200	500	—	39	58.1	0.67
板橋区	300	500	—	20	32.2	0.62
練馬区	300	800	○	19	48.2	0.39
葛飾区	300	1000	○	12	34.8	0.34
大田区	300	500	—	39	59.5	0.66
足立区	(300)	(500～800)		24	53.2	0.45

外周区

② 安全・安心な移動への課題

1) 自転車走行環境の不足による自転車事故（歩道、車道）の多発



図 事故多発地点 出典：警視庁 HP



図 幹線道路（一般県道以上）における自転車通行可能道路 出典：H17 道路交通センサス

注) 自転車通行可能：道路交通標識等で歩道での自転車の通行を認めた路線

自転車通行可能延長：歩道設置区間延長のうち自転車通行可能な延長

2) 駅周辺に集中する自転車需要

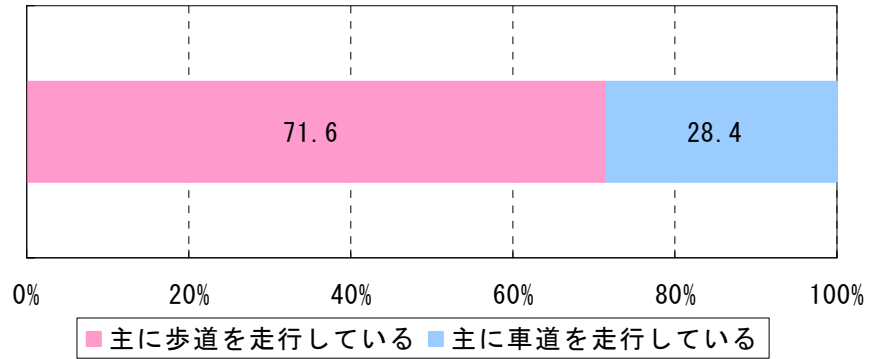


図 自転車の走行空間

出典：区民市民意識調査 (H21)

③ 拠点駅のポテンシャルへの課題

1) 駅を中心とした生活圏域の形成

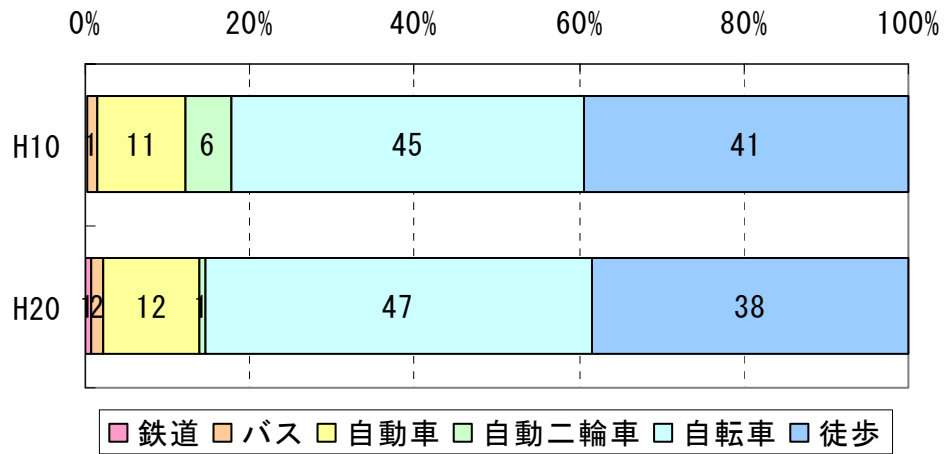


図 足立区私事目的計画基本ゾーン内々代表交通手段分担率

出典：東京都市圏パーソントリップ調査（H10・H20年）

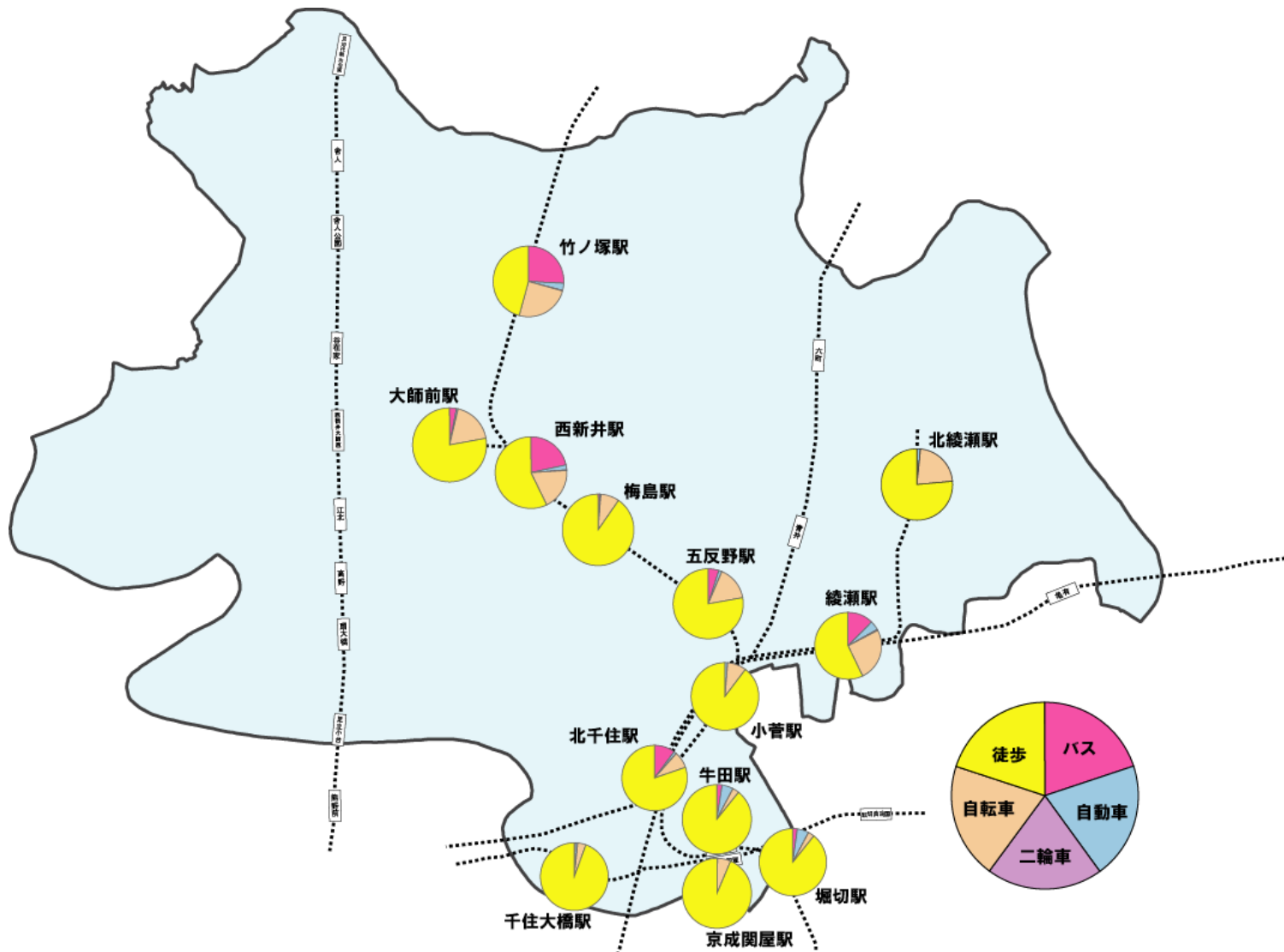


図 鉄道駅別端末手段分担率

出典：東京都市圏パーソントリップ調査 (H10)

⑤ 高齢者等移動制約者の移動確保への課題

1) S T S などきめ細かなサービス確保

表 東京都 23 区内における S T S などきめ細かなサービス事業実施状況一覧

自治体名	千代田区	中央区	港区	新宿区	文京区	台東区	墨田区	江東区	品川区	目黒区	大田区	世田谷区
きめ細かなサービス提供	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
リフト付福祉タクシー助成	○*	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
福祉タクシー券の配布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉タクシー事業者との取次ぎ(予約)サービス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

自治体名	渋谷区	中野区	杉並区	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	足立区	葛飾区	江戸川区
きめ細かなサービス提供	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
リフト付福祉タクシー助成	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○
福祉タクシー券の配布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福祉タクシー事業者との取次ぎ(予約)サービス	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×


※ 風ぐるま（貸切便）が該当

(出典：各区webページ)

一覧表は、以下の定義に従って整理を行った。(○：有 ×：無)

- ・リフト付福祉タクシー助成：障がい者等のリフト付タクシーの利用に対し、運賃や迎車料金の補助等の金銭的な補助の有無
- ・福祉タクシー券の配布：障がい者等のタクシー利用に対し、運賃や迎車料金に使用可能な利用券配布の有無
- ・福祉タクシー事業者との取次ぎ(予約)サービス：障がい者等のリフト付タクシー等の予約に対し、利用者からの予約を受けて、事業者に連絡・配車等の手配を行う区が設置する機関の有無

表 STS等を自ら提供している自治体の事例

自治体名	千代田区	港区
サービス名称	風ぐるま（乗合便） 風ぐるま（貸切便）	福祉キャブ
サービス形態	乗合便：定時定路線型（運行経路上であればどこでも降車可） 貸切便：ドア・ツー・ドア型	ドア・ツー・ドア型
目的	高齢者・障がい者を始めとする区民のため、地域交通手段を確保し、地域福祉の推進とノーマライゼーションの実現を図る	リフト付自動車の運行により、寝たきりの高齢者などの社会参加を促進する
対象者	乗合便：誰でも利用可能 貸切便：区内在住で、乗用車タイプのタクシーを利用することが困難な方	(1) 65歳以上で一般の交通機関を利用することが困難な人 (2) 60歳以上で下肢が不自由な人
事業主体	千代田区	港区
運行事業者	日立自動車交通株式会社	—
サービス水準等	乗合便：8：45～17：25（第2・4日曜日、祝日運休）0.5～1便/時 貸切便：8：00～18：00 前日までに要予約	24時間（年中無休）
利用料金	乗合便：100円/回 貸切便：中型タクシー料金	中型タクシー料金
運行車両写真		
備考	乗合便は、「60歳以上の方」、「障がいのある方」、「妊産婦・未就学児連れの親子」、「ちよだボランティアセンターに登録されている方」に無料乗車券発行（500円）	

（出典：千代田区、日立自動車交通株式会社webページ）